

図書館だより

NO. 140 2009年 10月号
(2009年10月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

『はつかいち市民図書館まつり』を開催します！

と き 11月7日(土)

☆「人形劇」がやってくる！(申込締切り10月3日(土)必着)
10:30～12:00 場所：さくらびあ小ホール

～大人のためのストーリーテリングのおはなし会～

☆おはなしの部屋 たまてばこ

先着 80名 はつかいち市民図書館に直接、または電話で申し込んでください。
13:30～14:30 場所：さくらびあハーサル室

☆雑誌のリサイクル市 (来場者多数の場合は入場制限あり)

内容：保存期限が終了した平成18年(2006年)分の雑誌を無料で提供します。
1人10冊まで。本を入れる袋をご持参ください。子ども向け雑誌など
永年保存の雑誌は対象外です。

14:00～16:00 場所：さくらびあ小ホール前(ホワイエ)

<今月の展示>

<さくらびあ展示>『民謡』

10月24日(土)に開催される「大野実佐子民謡コンサート 民謡の玉手箱～その力を信じて～」にちなんで、民謡に関する本を展示します。

<中央展示>『エコな生活』

10月1日からレジ袋無料配布中止が廿日市市内のスーパーマーケット等で始まります。これを機会に、「地球」にも「人」にもやさしい「エコな生活」を実践してみませんか。今月は「環境問題」に関係した本を展示します。

<児童展示>『実りの秋・食欲の秋』

梨狩り・ぶどう狩り・きのこ狩りなど・・・秋の実りを感じながら同時に食欲も満たす！そんな充実した秋にピッタリの絵本を集めてみました。

<テーマ展示>『ダイエット』

「読書の秋」「スポーツの秋」そして「食欲の秋」……。メタボが気になる季節です。今月は、「ダイエット」に関係する本を展示します。

さつき読書会情報

毎月1冊課題図書を決めて、本の感想を自由に語り合っています。

みんなで、本のおもしろさを分かち合える「さつき読書会」に参加してみませんか？

<活動日>第3水曜日10:00~12:00

<場所>さくらびあ会議室など

<会費>1,200/月(3カ月分前納)

<講師>深川賢郎 先生

~読書会通信「根っこの歌」より~

さつき読書会(8月例会)は、「父の詫び状」向田邦子/著でした。著者のほのぼのとしたまなざしが随所にうかがえて、会員の発言もいつもとは違った盛り上がりを見せました。この作品には、邦子の子ども時代のエピソードや平素のちょっとした出来事が描かれています。「子ども時代のことなのに、どうしてこんなに鮮やかに思い出せるのだろう」という声も出ました。向田邦子の文体は、事実を細やかに描写し、その切り口が温かくやさしい味わいを持っているので、読む人にゆったりとした快感を残します。

郷土資料紹介

『廿日市市の環境 第22集』

廿日市市/編 H519.2/ハ 2009年

廿日市市では、平成12年3月に策定した「廿日市市環境基本計画」に基づき、生活環境の整備や、快適な都市環境の創造、地球環境の視点に立った自然環境と共生したまちづくりを推進しています。この計画で、市民・事業者・行政の3者がそれぞれの立場で主体的に取り組む行動計画を定めています。

本書では、「廿日市市環境基本計画」の重点施策、主体別行動計画、率先行動計画の取り組み、行動を報告し、平成19年度に測定した市域の環境状態について、環境基準等に照らし、分析し、評価したものをとりまとめています。

目次は、【概要編】と【資料編】とに分かれ、概要編では「環境都市の創造」「騒音・振動」「水辺の生き物」などについてわかりやすく説明してあります。資料編では、測定結果について表などを用いて、分析評価しています。

廿日市市に關係する資料は、一番奥の「N」の棚にあります。ラベルに「H」という記号がついています。

<今月の新着(一般書)>

図書館には1カ月に約600冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

『昭和二十年代→三十年代百二十八枚の広島』 明田弘司/著 南々社 217.6/7

『アフリカ史』 川田順造/編 山川出版社 240/7

『ヨーロッパ食堂旅行』 野地秩嘉/著 ダイヤモンド社 293.0/1

『戦国を生きた公家の妻たち』 後藤みち子/著 吉川弘文館 367.2/3

『筋肉のしくみ・はたらき事典』 石井直方/監修 西東社 491.1/4

『「脳をうまく働かせる人」の習慣力』 石浦章一/著 ワック 498.3/1

『日本の宇宙開発 果てなき空間への果てしなき夢』 歴史群像編集部/編 学習研究社 538.9/2

『親子で楽しむベビーサイン』 吉中みちる・まさくに/著 実業之日本社 599/3

『国立西洋美術館公式ガイドブック』 国立西洋美術館/企画・監修 淡交社 706.9/3

『バレエ名作ガイド』 ダンスマガジン/編 新書館 769/ハ

『文章力の基本』 阿部紘久/著 日本実業出版社 816/7

『建礼門院という悲劇』 佐伯真一/著 角川学芸出版 913.4/4

『海軍学徒兵硫黄島に死す』 多田実/著 産経新聞出版 916/4

『人情馬鹿物語』 川口松太郎/著 論創社 F/カ

新刊

ことものほん

『オチョグニ』

パク・ヨンチョル=文と絵 皇あキラ&キム・ソンミ=共訳
瑞雲舎 E/A

昔“てんのくに”は、オチョグニ五人組のせいで穏やかな日は1日もなかった。怒った王さまは五人組を捕まえ、人々をいじめていた恐ろしいお化けを退治すれば許すと命令した。五人は各々の特技をいかして捕まえようとしたが…。魔除けの飾り瓦にまつわる韓国の昔話。文も絵もユニークで面白い。

『-てんじつきさわるえほん-しろくまちゃんほっとけーき』

わかやまけん こぐま社 E/7

「たまごをわって ぎゅうにゆういれて よくかきまぜるのね」「ぼたあん だろどろ」幼い子の大好きな絵本が、点字と隆起印刷を施した絵本になりました。ほっとけーきの焼けるまでがさわって楽しめます。点訳絵本は、「見える人が楽しんでいる絵本を、見えない人も一緒に」の視点で作られています。

『なるほど忍者大図鑑』

絵・文 ヒサ クニヒコ 国土社 789/7

黒い忍び装束を着て、刀や手裏剣をあやつり自由に飛び跳ねる忍者。ほとんど記録に残っていませんが戦国時代に大活躍しました。どんな武器や道具を使い、どんな技を使ったのか、忍者の生活など謎に包まれた忍者のことをわかりやすく解説した本です。

『大きな大きな船』

長谷川集平 ポプラ社 E/A

「父さん、ぼく父さんに母さんの役までやってほしいと思わないよ」ぼくと父さんの二人きりの生活は、少しぎこちない。しかし、父さんも聞いたことがある母さんが吹いていた口笛のことを語り合ううちに、二人の心が近づいていく。父と子の物語。

『ウミウシ』

文・中野理枝 写真・豊田直之 福音館書店 484/7

海底の岩をゆっくり這うカラフルな色の生き物ウミウシは、貝殻をもたない巻き貝です。さまざまな色や形をしているウミウシの仲間と、敵に食べられない工夫をあれこれとこらしているウミウシの不思議な生態を多くの写真で紹介した本です。

『ダーウィンー日記と手紙にかくされた偉大な科学者の努力と夢ー』

文 アリス・B・マクギンティ 絵 メアリー・アゼリアン 訳 千葉茂樹 BL出版 289/7

『種の起源』の著者の一生を描いた本です。幼い頃から石や貝殻を集めるのが好きだったダーウィンは、父に勧められた医者や牧師になる勉強をしないで、昆虫採集に励み植物学を学びました。その後、世界一周の航海で、植物や動物、地質学を研究するうちに、今までの常識をくつがえす疑問がわいてきた彼は、科学の世界に新しい理論を発表しました。

ミニブックトーク

「旅」

旅といえば…旅行ですね。みなさんの旅行の思い出にはどのようなものがありますか？

①『ABC 旅の絵本』 アニタ・ローベル/作 青木久子/訳 セーラー出版 E/0

アルファベット順に世界中の街の風景が描かれています。次はどここの国へ行きたい？日本の街も載っているかな？みなさんも自分の名前（イニシャル）のページを開いてみませんか！

飛行機や船の旅だけが旅ではありません。こんな小さな生き物だって生きるために旅をしています。

②『びっくりどっきり寄生虫』 ニコラ・ティピス/文 ニール・レイトン/絵 唐沢則幸/訳 荒木潤/監修 フレーベル館 E/7

寄生虫は動物を住み家とし、次から次へとその住み家を替えて旅をしています。例えば、私たち人間の体の中に住んでいるサナダ虫は、3回も姿を変えながら、長くてつら〜い旅をしています。

寄生虫のことを知っていくと、私たちと同じように心があり、考えながら生きてるように思えてきました。次は人の心を描いたお話です。心の旅、自分探しの旅に出た少年の物語です。

③『虎と月』 柳広司/作 理論社 913/ヤ

この物語は、中島敦の『山月記』の主人公＝虎になってしまった男の息子が主人公として登場します。少年はある事件をきっかけに、虎になった父のことを知りたくなりました。そして真実を探る旅へ出ます。少年を待っていた真実とは？！

※今回のミニブックトークは、9/3、9/9 に実施した「子どもと本の講座～もっと身近にブックトーク！」の中で実演されたものの中から、一部を掲載しました。講座では、テーマ・対象年齢は自由で3冊という設定でブックトークの実践を8名が行いました。なお、今回紹介した「旅」の対象年齢は小学校高学年です。

ひろしま子どもの読書活動団体等ネットワーク協議会研修会

「ひろしま子どもの読書活動団体等ネットワーク協議会」略して“子読ネット”は、平成12年「子どもの読書年」に文部科学省の委嘱を受けて事業を展開してきた「広島県子どもの読書を進める会」を引き継ぐ組織として平成13年に設立されました。現在事務局は広島県立図書館内にあり、毎年県内各地において様々な内容の研修会を開催されていますが今年度は廿日市市での開催となりました。県内各地でボランティアとして活躍されている子読ネット会員を講師に迎え、充実した内容の研修会となっています。第4回目のブックトークの実践では、8～9月にかけてはつかいち市民図書館で開催した「もっと身近にブックトーク！」の受講生が発表します。子どもと本に興味がある人など、どなたでも参加できます。いずれも申し込みは不要で、1回のみ受講も可能です。多数の参加をお待ちしています。

第1回 8月31日(月) 講演会「子どもと読書」は終了しました。

回	とき・場所	内 容	講 師
第2回	10/2(金) 13:30~16:00 市役所7階会議室	小学生~中学生向きの本の紹介 (子どもの読書ひろしまネット BOOKSより)	梅地佳代子、小林いづみ 立花有佐、福田由紀子 三浦幸子
第3回	11/20(金) 13:30~16:00 市役所7階会議室	① 尾道市のブックスタートについて ② あかちゃん絵本の紹介	① 尾道市ブックスタート ボランティア ② 仁井原英子
第4回	12/17(木) 13:30~16:00 市役所7階会議室	① ブックトークの実践 ② お楽しみ交流会	① 沖長美佳 安達のり子 郷範子 ② 貝原尚子

10月の図書館カレンダー

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時~

2回目 11時30分~

※整理券を相談窓口で配布します

☆おはなし会

【対象】幼児~小学校低学年

【時間】11時~

場所はいずれも図書館会議室です

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 ◎	3
4	5 休	6	7	8	9	10 ☆
11	12	13 休	14	15	16 ◎	17
18	19 休	20	21	22	23	24 ☆
25	26 休	27	28	29	30	31